
T-6 真空管アンプ

取扱説明書



CAV
JAPAN

T-6 真空管アンプ 取扱説明書

このたびは、弊社の真空管アンプ T-6 をお買い求めいただき、誠に有り難うございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」を最後までよくお読みの上、「安全上のご注意」に従い正しくお使い下さい。お読みになった後は保証書と一緒に必ず保管して下さい。また、この製品は一般家庭用として作られたものです。営業目的で使用し故障した場合は、保障期間内でも有償修理を承ります。

目次

主要な特長、付属品	2
安全上のご注意	3～4
本体各部の説明	5
右側面、裏面、各部の説明	6
他機器との接続	7
操作方法、ご使用上の注意	8
技術仕様	9
故障かな？と思ったら	10

主要な特長

1. パネルをアルミダイキャストで仕上げ、シャーシには重量感のある筐体構造を採用
2. 左右2個の電源トランスには高性能大型 EI コアトランス採用
3. 左右2個の余裕ある大型出力トランス採用
4. PHONO 回路搭載 (MM に対応) ※1
5. 入力端子群は右手前に配置し最短配線、出力も OPT から最短出力を実現
6. 大型スピーカー端子採用. (バナナ端子対応)
7. 電源給電ケーブルにはインレット型を採用

※1 : OPT・・・アウトプット トランス

付属品

下記の付属品があるかどうかご確認下さい。

電源コード	1
取扱説明書	1
保証書	1

安全上のご注意

製品ご使用前に説明書の注意事項および操作内容をよくお読みになり、ご理解頂きます様お願い申し上げます。製品及び説明書に表示された全ての警告、安全および操作指示にご遵守ください。

本製品に使われている真空管は消耗品ですので大切にご使用ください。
毎日連続でご使用の場合は8時間以内でのご使用をお薦めします。

1. 箱の開封

丁寧に開け、全ての付属品を紛失しないようにまとめてください。また、搬送により本製品に損害の疑いがあるかどうかを一度チェックしてください。本機の破損または操作不可が発生した場合、直ちにご購入の販売店様へご連絡ください。

2. 電源

電源電圧は交流 100V (50/60 Hz) 以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。本製品は日本国内の仕様です

3. 電源コードについて

踏んだり、重圧にされたりなどを避けてください。電源を抜くには直接電源コードを引っ張らないようにしてください。

4. 通風

筐体にある溝や開け口などは通風熱発散のためです。製品正常稼働を確保、過熱を避けるためです。開け口を物に詰まらせないようにしてください。

通風よいところに置いてください。通風のよい状態を保つためにもレコード等の物は製品の上に置かないでください。またテーブルクロスを敷かないでください。壁との間に 10cm 以上の距離をあけてください。通風口を遮断することになります。正確に通風措置を取り、またはメーカーの指示に従いまして置く以外は、本棚やラックなどに製品を置かないでください。

5. 水と湿気

水に近いところで使わないでください。例：浴室、洗面所、台所の洗い所および湿気のある地下室、プール付近など。製品の上に花瓶、液体を入れた容器などは置かないでください。

6、熱源から離れたところでご使用ください。例：発熱器、過熱レジスタンス、ストーブおよびその他の発熱製品。

7、金属類などに対する注意

本製品の安全カバー内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

8、安全カバーの取り外し

本機のカバーを外したり、改造しないでください。内部は、高温度・高電圧のケ所があり危険です。内部の点検整備・修理は販売店にご連絡ください。

9、本機器のお手入れ

お手入れする前に、本機の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。柔軟な布巾で製品をお拭きください。また、絶対に揮発性液体を使わないでください。例：アルコール、塗装希釈剤、ガソリンなどで筐体を拭かないでください。

10. 設置場所

安定したラック、またはテーブルの上に置いてください。製品を落とされないようご注意ください。人身傷害の恐れがあります。製品を移動するとき二人でバランスをとりながら搬送してください。

11. 雷、落雷

雷の多い雨季または長時間ご使用しない時、製品保護のため、壁にあるコンセントから電源プラグを外してください。

12. 焼付け傷害の防止

使用中は真空管の外観が熱くなり触ると危険です。専用保護カバー（安全カバー）を取り外す時は、真空管の温度が下がってから外してください。

13. 真空管交換

本機の動作中は真空管は熱くなります。真空管を交換する時は真空管を十分冷却した後に交換をしてください。

14. 異常な匂いや煙が発生した場合、直ちに電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いてください。販売店または弊社までご連絡ください。

15. 部品の交換

交換する必要がありましたら、必ず同一メーカーの指定部品をご使用ください。その他の認可していない代行品は失火、感電またはその他の危険現象などが発生する可能性がございます。販売店または、弊社までご連絡ください。

16. お願い

説明書記載以外の操作をしないでください。

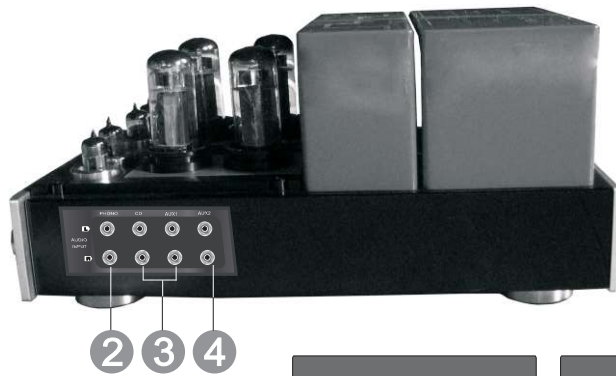


本体各部の説明

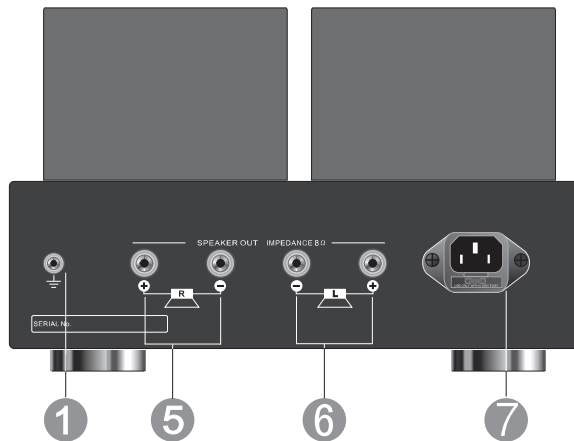
1. 電源スイッチ
2. 真空管（奥/E L-34×4、手前/12AU7×4）
3. 出力トランス
4. 出力トランス
5. 音量ヴォリューム
6. SELECTOR（PHONO、CD、AUX1、AUX2）切換えスイッチ
7. 電源トランス
8. 電源トランス
9. 電源表示 パイロットランプ（LED）

※ 真空管を安全カバーで保護しています。

右側面

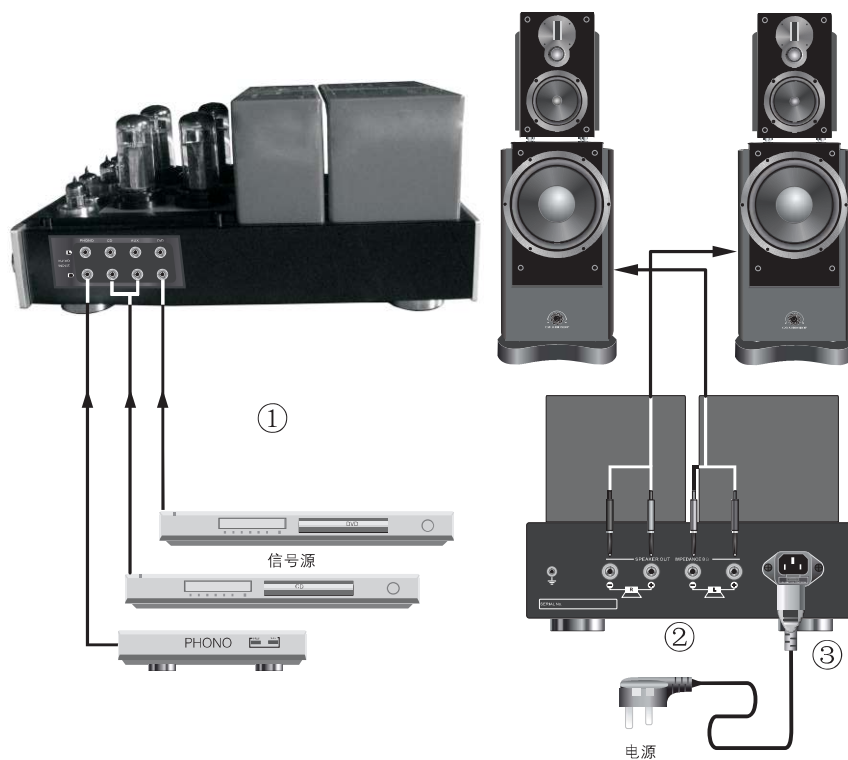


裏面



右側面、裏面 各部の説明

1. PHONO 端子を使用時のアース端子
2. AUDIO INPUT (PHONO) 入力信号源の接続端子 L・R
3. AUDIO INPUT (CD, AUX1) 入力信号源の接続端子 L・R
4. AUDIO INPUT (AUX2) 入力信号源の接続端子 L・R
5. SPEAKER OUT: スピーカの接続端子 R (右) はスピーカの右側に接続
(8 Ω)
6. SPEAKER OUT: スピーカの接続端子 L (左) はスピーカの左側に接続
(8 Ω)
7. AC INPUT: 電源コードプラグ差込口 (交流電源 100V/50Hz . 60Hz)
FUSE: ヒューズ (機体に電圧衝撃を受けないための保護装置。交換するとき、同規格のヒューズをご使用ください。また、販売店へご相談ください。)



他機器との接続

1. 入力信号源の接続

信号源 R (右) とアンプ INPUT 信号源の接続端子 R を接続します、信号源 L (左) とアンプ INPUT 信号源の接続端子 L を接続します。

2. スピーカの接続

R (右) スピーカとアンプ OUTPUT スピーカの接続端子 R (右) を接続します、同じく、L (左) スピーカとアンプの OUTPUT スピーカの接続端子 L (左) を接続します。

注意：赤い端子は“+”極、黒い端子は“-”極です。

“+”はスピーカの“+”と接続します。

“-”はスピーカの“-”と接続します。

(スピーカ適応インピーダンスは 8Ω)

3. 電源の接続

100V 交流電源と AC INPUT (電源コードプラグ差込口) と接続します。

※ T-6 に同梱されております電源ケーブルはこの商品のみで
ご使用ください。

操作方法

1. 他機器との入力信号ケーブル、スピーカーケーブルを接続してから最後に電源コードを接続してください。
2. 本機器の電源を ON にする前に、接続ケーブルの接続状態を再度ご確認ください。
3. プラグに差込み、電源スイッチを押して ON にしてください。電源スイッチ上のブルー色表示インジケーターが点灯します。
4. 前面パネルにある音量ツマミ (VOLUME) を最小音量から適応音量まで調整します。毎回、機器を ON にする前音量ヴォリュームを最小程度で調整してください。

それでは、存分に音楽再生をお楽しみ下さい。

技術仕様

スペック

AMPLIFIER T-6

- ・ 定格出力 (RMS、8 Ω) 24W+24W
- ・ 全高調波歪み (THD) ≤2%以下
- ・ 再生周波数帯域 20Hz—40kHz (±1dB)
- ・ S/N比 ≥80dB以上
- ・ 入力インピーダンス 100k Ω (CD, AUX1, AUX2)
- ・ 出力インピーダンス 8Ω
- ・ PHONO入力感度 アナログ入力 ≥360mV±1dB
- ・ 入力端子 アナログ入力 (CD, AUX1, AUX2)
. PHONO(MM)
- ・ 電源電圧 AC100V (50Hz/60Hz)
- ・ 消費電力 230W (無信号時) 、 250W (最大時)
- ・ 重量 24Kg
- ・ 外形寸法 255mm(W) × 205mm(H) ×
430mm(D) . . . 本体のみ
493mm(D) . . ツマミ、電源線含む
- ・ 使用真空管 EL-34 × 4 、 12AU7 × 4

※ 仕様については、事前の通知をすることなく変更する場合があります。

【 故障かな？と思ったら 】

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のAV機器等も合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店または弊社にご連絡ください。

症 状	原 因	解 決 方 法
音がでない	1) スピーカーケーブルが断線	スピーカーケーブルを交換します。
	2) 音量ツマミ(L.R)が最小位置	適切な音量になるまで調整します
	3) 信号ケーブルが脱落または短絡	システム接続方法の説明内容を読み正しく接続します。
スピーカ片方音が出ない	1) スピーカユニットのソフト線が断線または短絡	システム接続説明内容を読み、正しく接続します。
	2) 信号ケーブルが脱落または短絡	システム接続説明内容を読み、正しく接続します。
対応する音源の選択ができない	1)音源または音源ケーブルが接続されなかった。或いは正しく接続されなかった。	システム接続説明内容を読み、正しい接続を行います。
音声のチャンネル音が時々きれます	1)真空管の挿しこみ、接続状態がよくない	機器をOFFにした後、丁寧に挿しこみをやり直します。 ※注意：間違いないようにガイドに従い正しく挿しこみます。
	2)信号ケーブルが脱落または短絡	システム接続説明内容を読み、正しく接続します。
	3)スピーカーコードが断線または短絡	システム接続説明内容を読み、正しく接続します。
指示ランプ、真空管赤くならない	1)停電、電源ケーブルが脱線または接触が良くない	電源供給を、チェック又は、電源ケーブルを交換します。
	2)ヒューズが焼き切れた	同じ型のヒューズで交換します。
個別真空管が光らない	1)個別真空管のフィラメントが焼き切れた	真空管を交換する。
真空管廻りが熱くなる	長時間使用し空気の流通が少ない環境に設置されている	アンプ本体は廻りに空間を空けて放熱し易い環境に再設置

CAVジャパン株式会社

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 5-48-5 光陽社ビル 8F

TEL:03-5850-6800 / FAX:03-5850-6810

商品に関するお問い合わせ先

CAV ジャパン株式会社 お客様相談窓口



0120—232—765

<http://www.cav-japan.co.jp>